

インフォテリア、世界初の商用 XSLT プロセッサ製品を発表

XSLT 勧告にいち早く対応した C++ 対応ソフトウェアプロセッサ「iXSLT」

インフォテリア株式会社（東京都目黒区、代表取締役社長：平野洋一郎）は、12月15日、世界的に注目を集めているインターネット技術 XML^{*1} (eXtensible Markup Language) の関連技術である、XSLT^{*2} (eXtensible Stylesheet Language Transformation) を処理するソフトウェアプロセッサ「iXSLT」(アイ エックスエスエルティー) を 2000年2月に出荷開始することを発表しました。この発表は、XSLT 勧告対応の商用プロセッサとして世界初の発表となります。XSLT は、1999年11月16日に W3C から勧告された XML 関連技術で、XML で記述されたデータを様々な構造に変換することができ、デジタル衛星放送(B-XML^{*3})や地理情報システム(G-XML^{*4})におけるデータ形式変換にも採用が予定されています。

「iXSLT」は、W3C の XSLT 1.0 勧告(<http://www.w3.org/TR/xslt>)に完全に準拠した XSLT 処理プロセッサで、C++による実装で高速処理を実現しています。「iXSLT」は、実行形式(EXE)、ダイナミックリンク形式(DLL)および COM 形式で提供されます。実行形式モジュールの場合は、Windows Shell (WSH)やウェブサーバーの CGI^{*5}に簡単に埋めこんで使用することが出来ます。ダイナミックリンク形式の場合は、プログラムなどから API^{*6}を通じて制御することが可能で、例えば、あらかじめ XSLT ファイルを読み込んでおくことで複数の同形式の XML ファイルを高速に処理する事が可能です。COM 形式の場合は、Active Server Pages (ASP)^{*7}に埋め込んで使用したり、Visual Basic から直接使用したりすることが可能です。「iXSLT」は、様々な形の実装に対応するために、標準入出力、ファイル入出力、URL 入力および API によるインターフェイスを装備しています。

出荷時期と価格

iXSLT は、2000年2月に、Windows 95, 98, NT 4.0, 2000 対応版を日本語版および英語版にて提供する予定です。iXSLT Windows 対応版の価格は、1本あたり20万円(ランタイムライセンス5本含む)で、組み込み再販が可能なプロフェッショナルエディションは200万円(ランタイムライセンス100本含む)からとなります。また、Windows 対応版出荷後に Solaris 版の提供や OEM による携帯デバイス等への展開も計画しています。

インフォテリア株式会社について

インフォテリア株式会社は、1998年に設立された国内唯一のXML 専門ソフトウェア会社です。インフォテリアでは、先進のXML テクノロジーをベースに、XML の普及を促進するコンポーネント製品や、エレクトロニックコマースでのデータ交換をXML ベースで行うためのツールとサーバー製品などを提供しています。

###

インフォテリア、Infoteria、iXSLT はインフォテリア株式会社の商標です。その他の製品名やブランド名は各社の商標または登録商標です。

<用語説明 / 注釈>

*1 XML
(エックス エム エル)

eXtensible Markup Language の略。データの内容とデータの構造を切り離し、意味付けされた情報を双方向に交換するための標準データフォーマット。1998年2月10日にW3Cより勧告された。次世代のウェブ上の情報交換フォーマットとして注目を浴びている。

参考情報

<http://www.w3.org/Press/1998/XML10-REC>

*2 XSLT
(エックスエスエルティー)

XSL Transformationの略。XSLは、eXtensible Stylesheet Languageの略。XMLデータにスタイル付けを行ったり、XMLのデータ構造を変換するための標準仕様。1999年11月16日にW3Cより勧告された。

参考情報

<http://www.w3.org/TR/WD-xslt>

*3 B-XML
(ビー エックスエムエル)

次世代デジタル放送のデータ形式として(社)電波産業会(ARIB)が策定を進めているBML (Broadcast Markup Language)対応プラットフォーム(受像機など)に、他の形式で記述されたXMLデータを取り込むための仕様。

参考情報

<http://www.arib.or.jp/>

*4 G-XML
(ジー エックスエムエル)

次世代地理情報システムのデータ形式として、(財)データベース振興センターが策定を進めている仕様。W3Cで策定中のウェブ上のベクターグラフィックの標準仕様SVG (Scalable Vector Graphics)への変換などにXSLT技術を使用する予定。

参考情報

G-XML: <http://gisclh.dpc.or.jp/gxml/>

SVG: <http://www.w3.org/1999/08/WD-SVG-19990812/>

- *5 CGI
(シージーアイ)
Common Gateway Interfaceの略。ウェブサーバーがブラウザに対して動的処理を行うための方法の一つ。CGIプログラムは、PerlやCなどで書かれることが多い。
- *6 API
(エーピーアイ)
Application Programming Interfaceの略。コンピュータプログラムが他のコンピュータプログラムを制御するためのインターフェイス。
- *7 ASP
(エーエスピー)
Active Server Pagesの略。Windowsプラットフォーム上で、ウェブページを動的に作成するための仕様の一つ。マイクロソフトが独自に策定。近年話題になっている、ASP (Application Service Provider)とは別物。

<お問い合わせ先>

記事掲載用 : info@infoteria.co.jp (電子メール)
<http://www.infoteria.com/> (ウェブサイト)

プレス専用 : 03-5725-5107 (電話)
press@infoteria.co.jp (電子メール)
担当 : 社長室 中村幸代

以上